



BUSINESS REPORT

2009年
8月期

2008.9.1 ▶ 2009.8.31

株式会社 **コシダカ**

証券コード：2157

総合余暇サービス提供企業として
さらなる企業価値の向上を
図ってまいります。



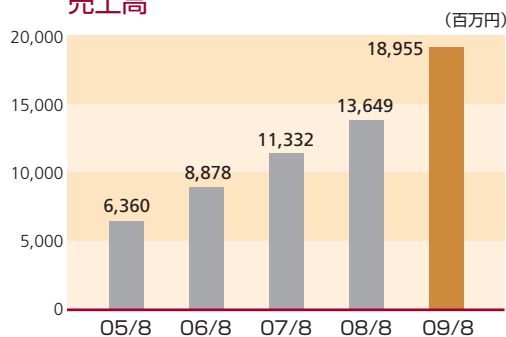
代表取締役社長
腰高 博

Q 当期における業績の概要をお聞かせください。

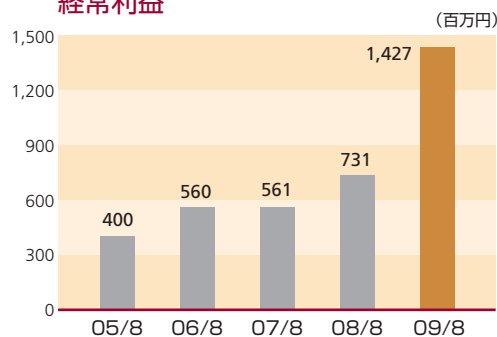
A 過去最高の売上高・利益を計上し、
大変満足のできる成果を
残すことができました。

当期は、金融不安に端を発した欧米経済の低迷を背景とした輸出の減少が、国内需要の減退にまで波及し、景気低迷を長期化させております。当社グループの中核であるカラオケボックス業界では、消費者の娯楽ニーズの多様化と若年層人口の減少の中で、市場需要規模は緩やかな縮小傾向にあり、供給面では小規模カラオケ店及び中小カラオケチェーン店の廃業・縮小が相次ぐ一方で、大手チェーン同士の競合は激しくなりつつあります。このような厳しい環境の下、当社グループは売上高18,955百万円、経常利益1,427百万円、当期純利益549百万円を計上し、過去最高となる業績を残すことができました。特に利益が大きく伸びましたが、これは、昨年秋以降の景気低迷の流れの中で、下期にカラオケボックス事業における新規出店を厳選することで出店店舗数が3店舗にとどまったことから、新規出店に係る経費が抑制されたというものであり、厳しい経営環境の中で機動的な出店政策を展開できた結果であると考えています。

売上高



経常利益



財務 ハイライト

(2008年8月期までは
単体の数値です。)

Q 主な取り組みとしてはどのようなものがありますか。

A コシダカグループを創生し、グループとしてのさらなる成長のための準備ができました。

当期の一番大きなニュースは、2008年10月に世界最大のフィットネスクラブチェーンの日本におけるフランチャイズ(FC)本部である株式会社カーブスジャパンが当社グループの一員に加わったことです。当社は以前から、余暇の使い方としてフィットネスに注目し、FC加盟店として「カーブス」を運営してきました。今回のM&Aは、今後の成長のためにとても良い機会であると考え、お受けすることとしました。当期は株式会社カーブスジャパンの管理部門の強化を図りましたので、来期以降当社グループのさらなる成長に着実に寄与するものと考えています。また、カラオケボックス事業においては、新規出店を抑制した反面、既存店の大規模リニューアルを含む改装による活性化・新業態店舗のブラッシュアップの実施、不採算店舗の整理を行ったほか、人材教育面では基本動作を徹底するなど、収益力及び組織力の強化を図ることができました。今後は、カラオケボックス事業とカーブス事業という顧客層や店舗運営方式の異なる事業の展開を通じて、ノウハウの蓄積や人材の交流などのシナジー効果を発揮していきたいと考えています。

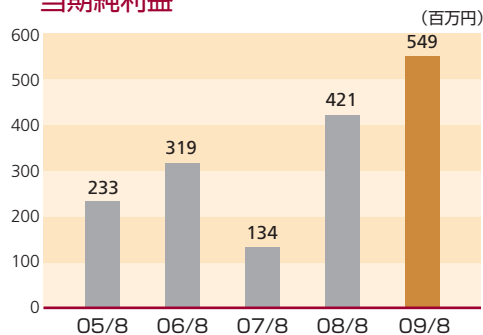
Q 来期の見通しと株主の皆様へのメッセージを。

A 「1,000億円企業」を目指し、その道筋を着実につつつ、企業価値をさらに高めてまいります。

来期も引き続き厳しい経営環境が続くと予想されますが、カラオケボックス事業においては当社のビジネスモデルである「居抜き出店方式」及び当期から開始した「建築出店方式」による新規出店により収益力を高めてまいります。また、カーブス事業においては、当期に培ったノウハウをさらに深耕させ、FC加盟店ネットワークの拡大と会員数の増加を図ってまいります。以上により、2010年8月期の当社グループの連結業績につきましては、売上高22,018百万円、経常利益2,268百万円、当期純利益749百万円を見込んでいます。

中長期的には「1,000億円企業」となることを目指し、カラオケボックス事業における建築出店方式のノウハウの確立、新業態の多店舗展開の実施、M&Aによる既存業種新業態でコシダカにしかできないビジネスの確立にチャレンジし、「1,000億円企業への道筋」を着実につけてまいります。今後も総合余暇サービス提供企業としてさらなる企業価値の向上を図ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期純利益



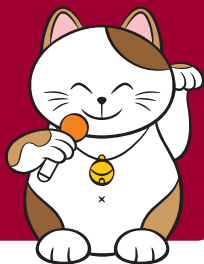
2010年8月期 業績予想

売上高 **22,018** 百万円

経常利益 **2,268** 百万円

当期純利益 **749** 百万円

コシダカ データベース 2009



2 グループ 社員数は？

「2,024名※」
です。

(2009年8月31日現在)

コシダカグループとなり、グループ一丸
となって、1,000億円企業となることを
目指しております。

※パート・アルバイト、社員を含む総合計です。
パート・アルバイトは、1日8時間換算人数です。

4 まねきねこの家族は？ 「6人(匹?)」です。

今後のまねきねこファミリーの活躍にご期待ください！



FATHER
(お父さん)



MOTHER
(お母さん)



SISTER
(妹)



GRAND FATHER
(おじいちゃん)



GRAND MOTHER
(おばあちゃん)

1

当期の一番大きなニュースは？

株式会社
北海道コシダカ

株式会社
コシダカ

株式会社カーブス
ホールディングス

株式会社
カーブス
ジャパン

コシダカグループ

2008年10月に、当社の子会社である株式会社カーブスホールディングスが、世界最大のフィットネスクラブチェーンの日本におけるFC本部である株式会社カーブスジャパンを完全子会社化し、コシダカグループを創生したことです。

3

当期はどんなフェアを 実施した？

季節に応じた涼味フェアや宴会メニューを展開したほか、98円激安メニューも登場した「感激!元気!かんげん(還元)フェア第2弾」を実施し、好評をいただきました。



5

カラオケボックス事業の 当期末の店舗数は？

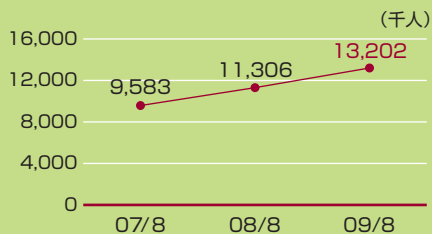
従来の「居抜き出店方式」に加え、「建築出店方式」での出店を始め、294店舗となりました。



高崎緑町店

6 カラオケボックス事業の 当期の来客数は？

前期比16.8%増となる13,202千人のお客様
にご来店いただきました。



7 カーブスの特徴は？

- 1回たったの**30分**、好きな時間に気の合う仲間と無理なく楽しく。
- 低価格**(月会費5,250円～6,000円)
- 筋トレ、有酸素運動、ストレッチが30分で完了し、しかも**効果が高い**。
※その効果は、国立健康栄養研究所にて科学的に検証されています。



9 社長に質問！ 週に何回汗を流す？

「3日」です。

カーブスと同様に筋トレ、有酸素運動、ストレッチを組み合わせ、体を鍛えています。

8 カーブスの加盟会員数は？ 「254千人」です。

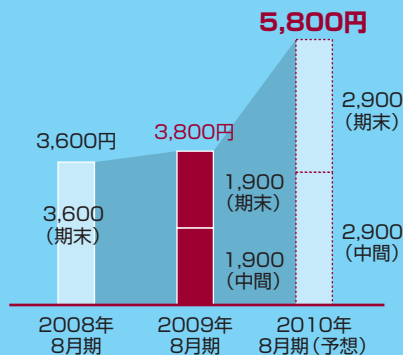
(2009年8月31日現在)

10 株主の皆様への配当は？

当期は初めて中間配当を実施しました。

その結果、1株当たりで中間配当1,900円、期末配当金1,900円となり、年間配当金は3,800円と、前期に比べて200円の増配となりました。

10年8月期は、年間配当金予想は、5,800円(中間2,900円、期末2,900円)と今期に比べて、2,000円の増配を予想しております。



事業の概況



カラオケボックス事業

出店状況

事業環境に応じた出店ペースにより
店舗を展開しました。

長引く厳しい経済情勢と事業環境の変化を踏まえて、カラオケボックス事業においては、積極的に推進していた店舗展開(2008年12月までに24店舗新規出店)の見直しを期中に行い、2009年1月以降は出店ペースを落とすとともに、不採算店の閉鎖を進めました。当期中における「カラオケ本舗まねきねこ」の店舗数は、28店舗の増加(居抜き出店21店舗、建築出店6店舗、「ORTO&K NEXT店」からの業態転換1店舗)と10店舗の閉鎖により、18店舗純増し期末時点で292店舗となりました。カラオケボックス事業全体の店舗数は、これに都市型新業態店舗である「ORTO&K」と「下町唱酒場浅草まねきねこ本店」が加わり、294店舗となりました。



具体的な取り組み

既存店及び新業態の
ブラッシュアップを推進しました。

「カラオケ本舗まねきねこ」につきましても、出退店のほか、経年陳腐化の進んだ既存店7店舗については設備面と営業面の両面でのリニューアルを同時に行い、チェーン店舗全体のブラッシュアップに努めました。また、期間限定で「室料100円、98円メニューの導入」を中核としたフェアを実施するなど、個人消費マインド低下による顧客離れ回避施策を実施しました。新業態店舗では「ORTO&K 仙台一番町店」を「ダイニング&ラウンジ」「ダーツバー&パーティ」「ダイニングカラオケ」「シミュレーションゴルフ」の4つの柱からなる「アミューズメントリゾート ORTO&K」とする施設と設備の増強を行い、将来の店舗展開を展望した業態のさらなる進化と検証を進めました。「歌声カラオケ浅草まねきねこ本店」は居酒屋としての魅力を高めるために飲料機能の強化、人材の増強及び設備の改良を施し「下町唱酒場浅草まねきねこ本店」としてブラッシュアップしました。

その結果、カラオケボックス事業の売上高は15,666百万円、営業利益は1,350百万円となりました。

売上高

15,666 百万円

営業利益

1,350 百万円

期末店舗数

294 店舗



カーブス事業

出店状況

カラオケボックス事業に続く事業の柱として、本格展開を開始しました。

カーブス事業においては、より主体的に事業へ取り組むことを目的に、日本におけるFC本部である株式会社カーブスジャパンの全株式を、当社の子会社である株式会社カーブスホールディングスが2008年10月22日に取得し、当社の連結子会社としてFC本部事業を取り込みました。当期末におけるカーブス加盟店舗数は754店舗（うち株式会社カーブスジャパン4店舗、株式会社北海道コシダカ運営7店舗）、加盟会員数は254千人となりました。



具体的な取り組み

FC加盟事業者の獲得及び会員増強のための各種施策に取り組みました。

カーブスFC本部事業として、FC加盟事業者の新規開拓、FC加盟事業者の多店舗展開支援、店舗スタッフの集合研修、開店前後の店舗立ち上げ支援、FC加盟事業者・スタッフの組織化及び既存店の会員増強プログラムの導入と会員増強運動の支援に取り組んでまいりました。その結果、カーブス事業の売上高は3,288百万円、営業利益は145百万円となりました。



売上高

3,288 百万円

営業利益

145 百万円

期末加盟店舗数

754 店舗

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

	2009年8月期 2009年8月31日 現在		2009年8月期 2009年8月31日 現在
資産の部		負債の部	
流動資産	3,717,348	流動負債	4,598,461
現金及び預金	2,530,395	支払手形及び買掛金	366,008
受取手形及び売掛金	347,884	短期借入金	168,000
商品	161,949	1年内返済予定の長期借入金	1,178,736
原材料及び貯蔵品	96,820	リース債務	26,288
繰延税金資産	126,847	未払金	574,782
その他	458,200	未払費用	566,188
貸倒引当金	△4,750	未払法人税等	501,750
固定資産	6,797,579	賞与引当金	136,222
有形固定資産	4,163,401	預り金	798,079
建物及び構築物(純額)	2,274,316	その他	282,405
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,275,021	固定負債	3,217,198
土地	503,816	長期借入金	3,104,390
リース資産(純額)	110,247	リース債務	89,470
無形固定資産	1,517,022	その他	23,337
のれん	1,283,288	負債合計	7,815,660
ソフトウェア	229,668	純資産の部	
その他	4,065	株主資本	2,679,804
投資その他の資産	1,117,154	資本金	493,600
投資有価証券	22,413	資本剰余金	483,600
長期貸付金	57,196	利益剰余金	1,702,604
長期前払費用	106,787	評価・換算差額等	△335
敷金	814,503	その他有価証券評価差額金	△335
繰延税金資産	85,275	少数株主持分	19,797
その他	33,678	純資産合計	2,699,267
貸倒引当金	△2,700	負債純資産合計	10,514,927
資産合計	10,514,927		

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	2009年8月期 2008年9月1日から 2009年8月31日まで
売上高	18,955,130
売上原価	14,149,422
売上総利益	4,805,708
販売費及び一般管理費	3,309,544
営業利益	1,496,163
営業外収益	117,714
営業外費用	186,022
経常利益	1,427,855
特別利益	3,854
特別損失	230,479
税金等調整前当期純利益	1,201,230
法人税、住民税及び事業税	700,151
法人税等調整額	△66,555
法人税等合計	633,596
少数株主利益	17,798
当期純利益	549,836

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	2009年8月期 2008年9月1日から 2009年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,126,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,736,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,169,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,559,536
現金及び現金同等物の期首残高	768,187
現金及び現金同等物の期末残高	2,327,724

●当社は、当期より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値を記載しておりません。

連結株主資本等変動計算書

2009年8月期(2008年9月1日から2009年8月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2008年8月31日 残高	493,600	483,600	1,284,768	2,261,968	531	531	—	2,262,500
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△132,000	△132,000				△132,000
当期純利益			549,836	549,836				549,836
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△867	△867	19,797	18,930
連結会計年度中の変動額合計	—	—	417,836	417,836	△867	△867	19,797	436,766
2009年8月31日 残高	493,600	483,600	1,702,604	2,679,804	△335	△335	19,797	2,699,267

株式の状況／会社概要 (2009年8月31日現在)



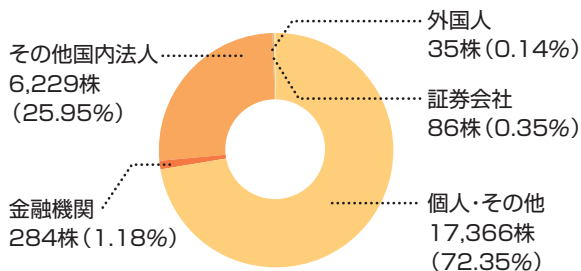
● 株式の状況

発行可能株式総数	96,000株
発行済株式の総数	24,000株
株主数	2,104名

● 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社ヨウザン	6,000	25.00
腰高博	5,900	24.58
腰高修	3,970	16.54
コシダカ社員持株会	733	3.05

● 所有者別株式分布状況



最新情報は、
ホームページを
ご覧ください

<http://www.koshidaka.co.jp/>

● 会社概要

会社名	株式会社コシダカ
英訳名	KOSHIDAKA Co., LTD.
設立年月日	1967年3月31日
本社	群馬県前橋市大友町一丁目5-1
資本金	4億9,360万円
従業員数	連結 従業員 2,024名 (正社員618名、パート・アルバイト1,406名) パート・アルバイトは、1日8時間換算人数 単体 従業員 1,700名 (正社員445名、パート・アルバイト1,255名) パート・アルバイトは、1日8時間換算人数
事業内容	カラオケボックス事業 (店舗数：294店舗) カーブス事業 (加盟店舗数：754店舗)

● 役員 (2009年11月26日現在)

代表取締役社長	腰高博
専務取締役	腰高修
取締役	朝倉一博
取締役	酒井幹雄
取締役	腰高美和子
取締役	佐々木敏之
取締役	近藤徹
常勤監査役	茂木功
常勤監査役	赤岩好夫
監査役	寺石雅英

● グループ会社

株式会社北海道コシダカ
株式会社カーブスホールディングス
株式会社カーブスジャパン

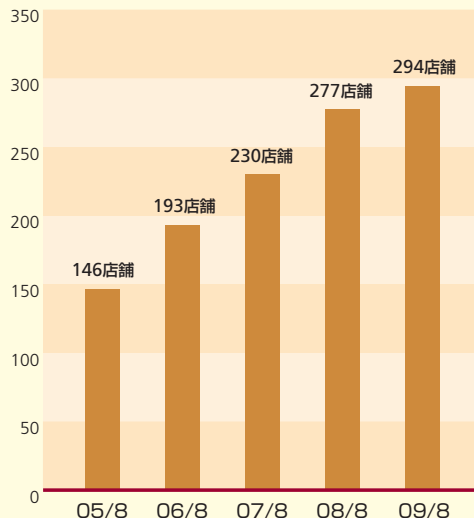
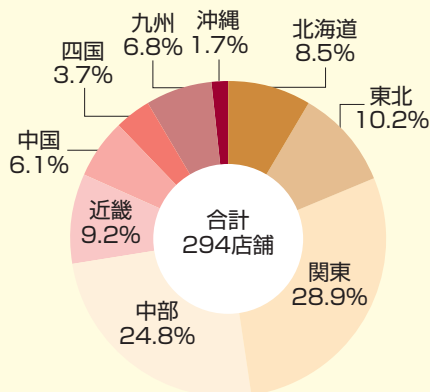


カラオケボックス事業店舗数 (2009年8月31日現在)

店舗数推移

合計 **294**店舗

北海道	25	店舗
東北	30	店舗
関東	85	店舗
中部	73	店舗
近畿	27	店舗
中国	18	店舗
四国	11	店舗
九州	20	店舗
沖縄	5	店舗

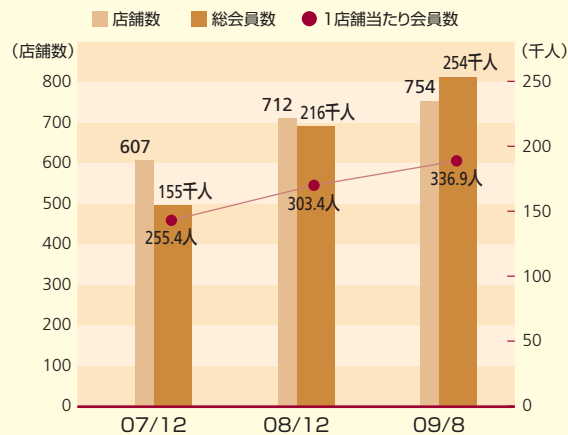
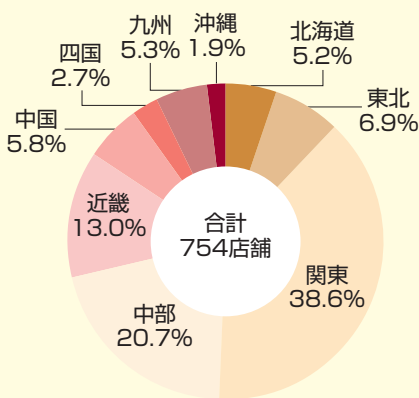


Cカーブス事業加盟店舗数 (2009年8月31日現在)

C店舗数/総会員数推移

合計 **754**店舗 (直営11店舗、FC743店舗)

北海道	39	店舗
東北	52	店舗
関東	291	店舗
中部	156	店舗
近畿	98	店舗
中国	44	店舗
四国	20	店舗
九州	40	店舗
沖縄	14	店舗



※カーブスジャパンは、当会計期間において決算期を12月から8月に変更しました。

株主メモ



- 事業年度 — 毎年9月1日から翌年8月31日まで
- 定時株主総会 — 毎年11月下旬
- 基準日
定時株主総会・期末配当 — 毎年8月31日
中間配当 — 毎年2月末日
- 株主名簿管理人 — 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 — 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) — 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 住所変更のお申出先について — 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて — 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 上場株式配当等の支払いに関する通知書について — 租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。
配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2157

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com